

トピック(テーマ)	1944年東南海地震と長野県		
ねらい	アジア太平洋戦争の開戦となった1941年12月8日の朝を最後に気象報道管理要綱により天気予報が新聞、ラジオから消えた。軍事保護法による軍事報道管制であった。その最中の1944年12年7日午後1時36分ごろ志摩半島の南南東20キロ沖を震源地にマグニチュード8.0の東南海地震が発生した。公にされず隠された大地震下で学徒動員により三菱名古屋航空機製作所で働いていた生徒たちが命を落とすなどの悲劇がうまれていた。戦争により隠されたことによる悲劇の再来を許さないためにも東南海地震の真相追求から学ぶことは大きい。		
キーワード	東南海地震 学徒勤労令 学徒勤労働員 東南海地震め殉難学徒の碑		
概要を知るためのツール	1	書名	戦争が消した諏訪 “震度6、 昭和19年東南海地震を追う
		著者名	宮坂五郎 市川一雄／著
		出版社	信濃毎日新聞社
		出版年	1992
		内容紹介	諏訪の東洋バルブ工業に勤務中この地震を「諏訪を中とした地震」と「思い込んでいた」「東南海地震体験者の会」会長の宮坂五郎の手記をもとに描かれている。「諏訪の地震」は東南海地震の一環だったことや諏訪の被害の実態や特徴など、戦意への影響を恐れ隠された地震の真相を描く。
資料リスト	1	書名	つぶされた青春—丸子農商学校工場動員の思い出—
		著者名	小林大二／編
		出版社	丸子山岳会
		出版年	1978
		内容紹介	東南海地震により丸子農商学校(現丸子修学館高校)生徒4人が亡くなった。なぜ死なねばならなかったのか。「生きた証」として同級生小林大二よる「つぶされた青春」の鎮魂歌ともなる史料集的記録集である。
	2	書名	「未来像」の青春 丸子農商学校工場動員「殉難碑」資料
		著者名	小林大二／編
		出版社	丸子農商学校(現 丸子実業高校 )東南海地震・殉難を考える会
		出版年	1996
		内容紹介	東南海地震によって4人の生徒が亡くなった同じ悲しみを繰り返さないよう後生に伝えるためとして、校地内に建立されたその建立記である。最後に、「戦争を全く知らない若者達が、あの時代を検証するための資料の一つとして加えて戴ければ幸いである」と記されている。
	3	書名	若き日の記録
		著者名	長野県飯田中学校第46回卒業生の会
出版社		長野県飯田中学校第46回卒業生の会	
出版年		1985	
内容紹介		三菱名古屋航空機製作所道德工場飯田中学5年生5人が人が被災した記録である。	
雑誌	1	論題名	1944年東南海地震の広域震度分布の再評価と被害の特徴
		著者名	武村 雅之, 虎谷 健司／著
		雑誌名	日本地震工学会論文集
		出版年	2015
		巻号頁数	15 巻 7 号

新聞	発行機関	信濃毎日新聞
	年月日	昭和19.12.8/昭和62.5.2/昭和63.12.20 に関連記事がある
	2 見出し	諏訪の被害検証 戦中に発生
	発行機関	信濃毎日新聞 朝刊1ページ
	年月日	2021.5.5
	3 見出し	第9回信毎賞
	発行機関	信濃毎日新聞 朝刊1ページ
	年月日	2002.6.6
コメント	資料リストに掲げた文献を読まれる中で、そこに掲載されている参考文献や新聞、学校史、そして一次史料などを手がかりに研究を進められたい。	